

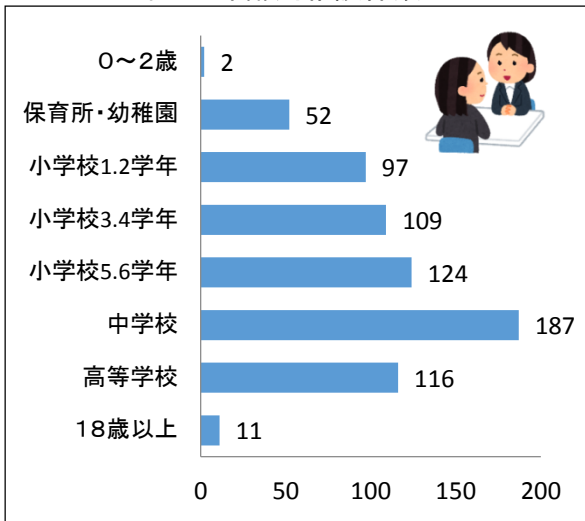
今年度も「福島県特別支援教育センターだより」を通し、特別支援教育に関する情報やセンターの取組などを発信してきました。最終号の今回は、今年度の相談及び学校・地域支援の状況を中心にご紹介します。

H30年度教育相談の状況から

特別支援教育センターでは、来所相談を中心に電話相談や出かける支援を行っています。今年度の相談の状況についてまとめました。



<図1 年齢別相談件数>



○校内で支援が共有されていないケースや必要な支援が引き継がれていないケースの場合、子どもたちの**特性や困難さが理解されにくいことが考えられます。**

○図1のように、年齢別では中学校、小学校5、6年、高校生の順に多く、**継続相談につながるケースが多い傾向がみられました。**

特性や困難さの背景を理解することや、必要な支援を考えていくために、**継続して相談する必要性を、相談者が感じていることが伺えます。**

○主訴として、小学生では、**「学習面のつまずき」「感情コントロールの難しさや落ち着きのなさなどの行動面」**に関する相談が多く、小学校5、6学年から高校生にかけては、**「周囲とのかかわり・コミュニケーション」**などの相談が増える傾向があります。

これらのことがきっかけとなり、学校生活に不適應を示し、**不登校**につながるケースもみられました。



福島県特別支援教育センター相談について



当センターでは、相談を通し、**子どもたちの特性や困難さ、支援方法**について本人やご家族、先生方と一緒に考えます。

また、その他、授業での支援、校内体制づくり、個別の教育支援計画や**合理的配慮の提供のプロセス等**、多様な相談を行っています。

関係者で連携し、子どもたちの健やかな成長を支えていきましょう。

- ◆相談時間 9:00～17:00
- ◆電話相談 月曜日～金曜日
- ◆来所相談 火曜日～金曜日（事前予約が必要）
- ◆相談対象

障がい等の心配のある乳幼児、児童生徒の生活面、学習面等の改善に向けた相談を主な対象とします。（乳幼児から学校在学まで）



相談専用電話 024-951-5598

H30年度学校・地域支援から

当センターでは、各学校等や市町村教育委員会、地域の関係機関等からの要請に応じ、支援を行っています。

昨年度は「**研修支援**」の要請が最も多く、次いで「**授業研究会での指導助言**」「**ケース会議の実施**」となりました。

今年度の特徴として、図2のように、市町村関係機関からの要請が多く見られました。

地域の支援団体など**教育機関以外からの要請が増えたことは、各地域で共に生きる社会づくりを目指した活動を推進しようとする意識の表れと考えています。**

今後も、子どもたちが地域でいきいきと暮らせるよう、様々な取組を進めていきたいと考えます。

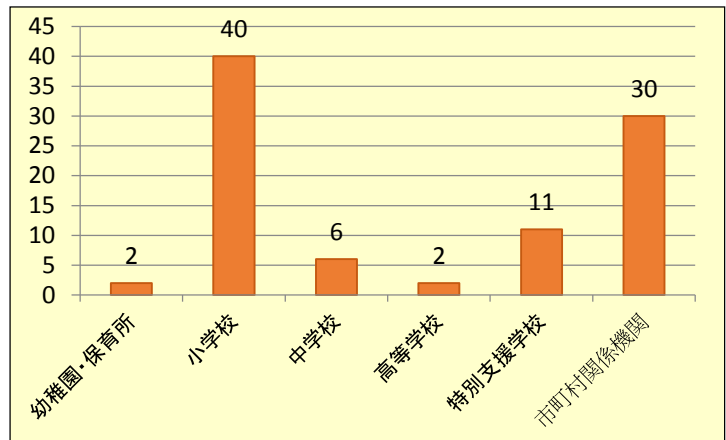


図2 学校・地域支援実施状況

学校等の研修支援の依頼内容としては、

- ◆「障がいや支援の必要な子どもの理解や対応」
- ◆「合理的配慮の提供について」
- ◆「授業づくり・授業のユニバーサルデザイン」
- ◆特別支援学級、通級指導教室の授業検討等が多くみられました。



当センターでは、各学校等や市町村教育委員会、関係機関のニーズに応じて支援を行いますので、お気軽にご相談ください。

【お知らせ】H31(2019)年度の研修講座について

来年度(2019年度)も、当センターでは、様々な講座を実施します。各学校等への研修講座案内とともに、Webサイトにもアップしていますので、ぜひご覧ください。

皆様の参加をお待ちしています！

【専門研修について(16講座)】

- ◆発達障がいの教育 (2講座)
- ◆特別支援教育実践力アップ(8講座)
- ◆特別支援教育の充実 (5講座)
- ◆幼小連携 (1講座)

【公開講座について】

来年度も様々な公開講座を計画しています。当センターのWebサイトをご覧ください。

【自主研修講座について】

来年度は、特別支援学級や通級指導教室を担当する講師の先生方を対象とした講座を計画しました。(7月31日(水)、8月6日(火))

講師の方の研修となります。当センターの講座案内をご確認の上お申し込みください！



New